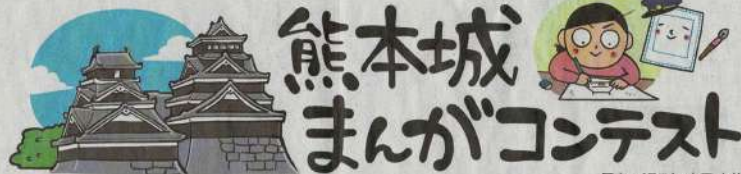


「熊本城まんがコンテスト」募集開始!!

漫画を通して創出する 熊本城の新たな魅力



題字・イラスト: 内田 麻美



熊本大学
准教授の村井健太郎さん(右)と
助教の木下裕士さん

熊本目新聞では、熊本城をテーマとした漫画を募集する「熊本城まんがコンテスト」を開催します。熊本といえは、多数の有名漫画家を輩出する一宮、筑城大学芸術学部デザイン学科「マンガ表現コース」や玉名女子高校ビジネス科「アニメデザインコース」があり、2023年4月には高森高校に「マンガ関連学科」が新設されるなど、漫画を学べる環境も充実した地。さらに昨年から、漫画を生かしたおもしろい取り組みとして、産学官が連携し「マンガ興くまも」を目指す動きがスタートするなど、漫画シーンは年々盛り上がりを見せています。同コンテストは、その特色を生かし、漫画を通して熊本城の新しい魅力を創出する機会となることを期待されています。

「熊本城を題材とした公の漫画コンテストは初の試みだと思えます。ぜひたくさんの人にチャレンジしてほしいですね」と話すのは、筑城大学芸術学部デザイン学科准教授の村井健太郎さん(35)。さらに「漫画は表現の自由度が高く、伝える力が強い媒体です。その漫画で熊本城を描くということには、大きな意味があると思います。また、全国の人に熊本城を目にしてもらえる良い機会にも、漫画を描くためにお城のことを調べて『熊本城ってカッコいい』と思うてもらったり、それがきっかけで熊本に来る人も増えたりするかもしれません」と言葉を絶やしません。挑戦する人はこんなアドバイスも。自由な解釈を取り組んでほしいですね。歴史やお城マニアの視点もいはい、加藤清正というキャラクターベースで漫画を描くのも手です。理学科助教の木下裕士さん(37)は「異世界モノ」が転生モノとか面白そう。熊本城がテーマだけど、熊本城の絵は出てこないというアプローチもあるかもしれません。漫画は表現方法が多彩で、何でもできるので、自由に取り組んでほしい」とエールを送ります。

熊本城を題材とした公の漫画コンテストは、これまで熊本城に興味があった人が漫画を通して熊本城を知りやすくなることにも、漫画に興味なかった人が熊本城を通して漫画を知る機会を創出することにもつながります。双方方向から理解が生まれ、熊本城と熊本城の魅力がより広く、新しい形で伝わっていくチャンスとなりそうです。

熊本城が
テーマなら
なんでもアリ!

自由な
発想で
描こう!

たくさん
の
応募
お待ち
しています!

熊本城復興支援キャンペーンの一環として、県内外を問わず、「熊本城」にちなんだテーマの短編まんがを募集します。優秀作品は、1位・2位・3位・特別賞×各1、入賞×4、計8作品を表彰し、タブロイド別刷り(熊本城ほかで配布)・熊本城復興支援キャンペーン特設サイトで紹介します。奮ってご応募ください!!

応募方法

主催 熊本日日新聞社
協力 熊本市・筑城大学・(株)熊本コアミックス
応募期間 2022年1月29日(土)~8月31日(水)
選考方法 審査員による選考(9月予定)
審査員長 内田 麻美氏(漫画家)
審査員 村井 健太郎(筑城大学准教授)
持田 修一(熊本コアミックス代表取締役社長)
表彰 表彰式(12月予定)会場 熊本本社(予定)
賞金 1位 5万円、2位 3万円、3位 2万円、
特別賞 2万円×各1名、入賞 1万円×4名

お問い合わせ

「熊本城まんがコンテスト」事務局(熊日東熊熊道局内)
〒860-8506 熊本中央区世安1-5-1
電話096-361-3226(平日9:30~17:30)

※詳細はWEBサイトをご覧ください。

